

## 会 議 議 事 録

1 会議名	平成29年度長岡市社会資本総合整備計画等事業評価監視委員会 【議題 長岡市通学路の安全対策（防災・安全）】
2 開催日時	平成30年2月1日（木曜日） 午後1時から午後3時まで
3 開催場所	まちなかキャンパス 3階 301会議室
4 出席者名	<p>(委員)</p> <p>大塚委員長 澤田副委員長 川上委員 金垣委員 小川委員 江口委員 湯本委員</p> <p>(事業説明者)</p> <p>小山土木部長（事務局兼） 土木政策調整課：谷畑課長（事務局兼） 有賀課長補佐 長谷川係長</p> <p>道路管理課：中川課長 川瀬課長補佐 桜井係長 竹畑主査 道路建設課：石橋課長 石田係長 地域建設課：太刀川課長 反町係長 平沢係長 交通政策課：山本課長 鈴木係長 市民活動推進課：近藤課長 桐生係長 学校教育課：淡路係長 斎藤指導主事</p> <p>(事務局)</p> <p>土木政策調整課：野口課長補佐 岡村主査 橋主任</p>
5 欠席者名	なし
6 議題	<p>1 制度概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業評価制度の概要</li> <li>・ 社会資本整備総合交付金制度の概要</li> </ul> <p>2 長岡市通学路の安全対策の概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長岡市通学路交通安全プログラム</li> <li>・ 社会資本総合整備計画</li> </ul> <p>3 評価結果の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成果の達成度</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効果発現要因の整理</li> </ul> <p>4 今後の長岡市通学路の安全対策について</p> <p>5 今後のスケジュール</p>
7 審議結果の概要	<p>議題1・2・5について</p> <p>事務局が資料で説明し、理解を得た。</p> <p>議題3について</p> <p>評価書のとおり了承された。</p> <p>議題4について</p> <p>評価書のとおり了承された。</p>
8 審議の内容	
委員長	計画名「長岡市通学路の安全対策（防災・安全）」の事業評価ということですが、議題1「制度の概要について」は、午前中に説明済みの為、省略させてもらって、議題2の「長岡市通学路の安全対策の概要について」事務局の説明をお願いします。
土木政策調整課長	それでは長岡市通学路の安全対策の概要についてご説明します。（資料により説明）
委員長	説明していただいた内容について質疑を受けたいと思います。非常にわかりやすく説明してもらったので概ね理解できたと思いますが、私から少し確認をさせていただきます。長岡市の道路管理者の対策箇所が385箇所とありますが、これが全てですか。それとも、他にもある中で、重要度等を勘案して選択したのですか。
土木政策調整課長	対策箇所は毎年見直しをしていますので、変動はありますが、この385箇所はH28年度末時点の全ての対策箇所になります。
委員長	要望があるところをすべて対策するにはきりがないように思います。中には消雪パイプを設置しているものもありますから、すべて対策するにはお金もだいぶかかると思いますので、何らかの視点で選定しているのかということでの確認です。
土木政策調整課長	通学路歩道消雪パイプ事業は平成16年度から開始した長岡市独自の事業で、設置が必要な個所を優先度を付け計画を立て順番に行っています。
委員長	概ねどの小学校も同レベルの整備を行っていて、整備が終わっていないところがこの計画にのっているということでしょうか。
土木政策調整課長	そのとおりです。以前からの計画と本計画との整合を図りながら整備しています。
委員長	もう一つお聞きします。路肩の整備（P39）で富首亀10号線の路肩を

<p>土木政策調整課長</p>	<p>拡幅していますが、ここにグリーンベルトをすると比較的小金をかけず効果が上がるように思います。ぜひそういうことも考えていただきたい。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>同感です。拡幅工事ができない対策箇所がありますので、そういうところにグリーンベルトを優先に設置しているのが現状ですが、一つの対策方法として、今後の対策状況をみていきたいと思います。</p> <p>P47の踏切にも色を付けてもらいたいと思いました。</p> <p>通学路は小学校だけでしょうか。中学校や保育園は対象にしないのでしょうか。もう一つが、歩道整備に6.9億円の事業費がかかっていますが、富曾亀小学校には稲保団地の生徒が200人くらいいます。冬場は大型バス何台かで送迎して費用は市と保護者で負担している。ソフトはこれにはなじまないかもしれないが、こういうことを愚直に続けることも大切だと思います。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>最後、防犯灯設置がありましたが、防犯カメラは議題に取り上げられなかったのでしょうか。今は防犯カメラの時代だと思っていますし、タクシーや、煽り運転対策でドライブレコーダーが普及してきている。通学路については、小・中学校から危険箇所を上げてもらっています。小学校の通学路を対策するとだいたい中学校の対策箇所も含んでいます。それ以外の場所は個別に対応しています。</p>
<p>市民活動推進課長</p>	<p>防犯カメラの設置に対する補助事業は現在長岡市には無いので、この計画には載せていません。ただ、防犯カメラ設置への要望があることは耳に届いているので、さけて通れない課題だと思っています。管理やプライバシーの問題で町内の負担も課題になっていくと思いますが、今後どういことができるのか警察等と検討していきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>実は防犯カメラを設置しようという運動をしているが、なかなか進んでいない。いろいろあると思うが、命を守るためにはどうしても必要だと思っている。いくら地域で見守っても限界がある。防犯灯と防犯カメラで24時間見守りができる場所を1箇所でも作っていただいて、そこから広げていってほしいという希望を持っている。</p> <p>2番目の質問の富曾亀小学校の件ですが、前に話した通り、生徒数がどんどん増えて冬場の通学はバスを2台も使って送迎している。根本的な問題はオペレーションだと思う。私は神田小学校出身ですが、今は1クラスしかない。東北中学校も1学年250人。大きくなっていくところとそうでないところのバランスが悪い。インフラの議題ですが、制度を変えながらこういうものに取り組んでいかないといけないと日頃</p>

<p>土木政策調整課長</p>	<p>から思っている。</p> <p>土木部ではどうしても国の方針に基づいたハード整備になる。せっかく教育庁、警察庁、国交省が連携してこのプログラムが始まったわけですし、市内部の関係部局と協力していきたいと思います。ただ、今は学校側から対策箇所を吸い上げて事業につなげていく段階ですが、委員の言われたソフト対策も含め、真に必要な安全対策を考えていかなければいけないと思います。ご意見は次のステップの参考にさせていただきます。</p>
<p>委員長</p>	<p>貴重なご意見をいろいろいただいていると思いますので、ぜひ今後に活かしていただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>防犯灯について一点お聞きします。P53 にすべて完了しているとありますが、要望が出たところをすべて対策し、未完了のところはなく継続無しということでしょうか。</p>
<p>市民活動推進課長</p>	<p>その理解で結構です。計画策定の時点で危険個所が挙げられていて、それをすべて対応したということです。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にないようであれば、議題3「評価結果の内容について」説明をお願いします。</p>
<p>土木政策調整課長</p>	<p>それでは評価結果の内容についてご説明します。(資料に沿って説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは審議に入りたいと思います。評価の内容につきましては、第三者の視点で妥当性・客観性・合理性があるかをチェックしていただきまして、目標値・評価値・達成度については合理的で客観的に妥当なものであるかを中心にご発言をいただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケート調査は学校職員を対象にしたものですか。地域や家族の視点は入っていないですか。</p>
<p>土木政策調整課長</p>	<p>あくまで学校へのアンケートですが、日頃の町内会長・PTA・保護者との意見交換での意見を吸い上げてアンケートに反映されているものと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>私もそう願っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>どなたからアンケートをとるといいと考えますか。</p>
<p>委員</p>	<p>校外活動はPTAが中心に行っているので、そこもいいと思います。</p>
<p>土木政策調整課長</p>	<p>交通安全プログラムの中に、通学路の安全対策に関する連絡協議会の構成について記載がありますが、教育委員会・小学校・PTA・地元の関係性の説明があります。やはり地域の実情は地元の町内会やPTAがよくわかっていますし、そのご意見は重要だと考えています。市も地元に入って要望会等を行っていますので、そういう機会にご意見をうかがっていただきたいと思います。</p>

委員長	<p>こういう評価を行うときにアンケートをどのように行うのかということになるかと思いますが、今回の実施方法では不十分ではないかという意見もありますので、今後の実施については、そこについても考えて次回に反映していただきたいと思います。</p>
委員	<p>P17 の長岡市交通安全プログラムに、どういう組織で行っていくか表されていますが、各小学校は PTA や地元と連携を取りながら教育委員会、それから道路管理者、警察、担当者があつまって、それぞれの立場から子供たちの通学路の安全を考える場があることは、とても大事、重要なことだと思います。こういう仕組みができているのであれば、十分に実効性のあるものにしていただくことが大事になっていくと感じました。この件に関しては、以前教育委員会から資料をいただいた中でも、通学路の安全は教育委員会として重要な課題と考えていることが確認できましたので、是非とも引き続き取り組んでいくことが大切だと思います。そういう意味で、通学路の安全を社会資本整備総合計画の中にのせて長岡市で取り組むことは目標の妥当性としてはいいものだと思います。</p>
委員	<p>指標の交通事故件数の達成度の件ですが、昨日たまたま学校の帰宅時に交通事故があったという報道を観ました。この事故が数値に反映されるのはこれからだと思います。今回の評価は年度末の見込み値のものだと思いますが、見込みで達成度が〇というのは少し怖いという感想を持ちまして、最後まとめるときに留意していただきたいと思います。</p>
土木政策調整課長	<p>そういう事故があったということですので、状況をよく確認したいと思います。</p>
委員	<p>万が一登下校時の事故だった場合は、違う評価になるということでしょうか。</p>
委員	<p>今に関連して、0 件というのは対策がリニアに効いているわけではなくて、たまたま交通事故がなくてよかった、という不確定な要素が多すぎるもので、指標を選ぶときの想像力の欠如だと思っています。</p> <p>つまり、事業箇所にて区切ってみていけば事業の効果として評価できるが、市内すべてものになれば、事業と関係ないところもたくさんあるわけで、そこで起きてしまったものは事業とは関係なかったと逃げてしまうのであれば、そもそも指標にするべきではないと思います。</p> <p>今回の 0 件も対策をしてよかったという感じが全然なくて、起きなくてよかったと、ただそれだけ、ラッキーという感じしかない。具体の対策が、目標とするものにリニアに効いているかということに対し</p>

	<p>ては、意識しておいたほうが、今後皆さんが苦勞しなくていいのではないかと思います。</p> <p>逆に言うと、アンケート調査のほうが、その他指標のほうで効いていて、学校現場としてはハードの整備は自分たちでできないので、いくら子供たちに交通安全を訴えても、物理的な環境によって子供たちは危険な状況に置かれるというのを、今回の事業整備によってだんだんこっち側が頑張れば基本的に事故を少なくできる。ボールがこっちに帰ってきているという感覚はあると思うんですね。それが土木的な事業の効果としては重要だという意味で言うと、いろいろ問題はあるにせよ、アンケートで学校の先生が安全になってきていると感じている。ということは今度は自分たちがもうちょっと子供たちとの向き合い方をしっかりするとか、PTA に安全性が確立していくというボールが投げられていることには意味がある。もう計画書に上がっている指標を変更できないことを前から聞いていますので構いませんが、感想です。</p>
委員長	<p>委員がおっしゃることは皆さんもそう思っているんだろうと思います。0というのはばらつきもあるし、因果関係とかもあろうかと思いますが、数字が出たときはまたそれを調査するとか、いろいろ対応があると思いますが、指標として難しいところはあるのではないかと思います。毎回出る話なので十分理解はしてもらっていると思いますが、今後の計画のほうに是非フィードバックしていただきたい。それはそれとして今回評価は皆さん良いという意見を聞いていて、現時点の評価はこれでいいのではないかと考えていますが、あとで数値が変わったときの対応について確認をしたいと思います。</p>
土木政策調整課	<p>当初指標を立てたときには、客観性を重視して推計値に基づいて目標を0としました。1件であれば目標は達成していませんが、推計値を下回っているので三角を付けようかと考えていました。2件であれば上回りますのでバツになるだろうと当初から想定しておりました。今回の事故が仮に小学生登下校時に発生したものであれば、結果として1件ということになりますので、達成度も三角になると考えています。</p> <p>今後の手続としては平成30年8月に警察から昨年度1年間の集計結果をいただき、そのうえで最終的な結果に基づき資料を修正して皆様に報告させていただきたいと思います。その後、国交省に報告して公表という流れを予定しております。</p>
委員長	<p>わかりました。それでは今言われた方針で取り組むということで、ここでは現状でご判断いただくということでよろしいですね。</p>

<p>土木政策調整課長 委員長</p>	<p>他にご意見はありませんか。概ねご意見をいただいたということではないでしょうか。それでは先ほど申し上げましたが、指標について事務局からご提案をいただきましたが、各委員からの意見は特に異論等ございませんでしたので、ご提案通り委員会として了承させていただきたいと思います。</p> <p>続きまして、議題 4 の今後の通学路の安全対策についてご説明をお願いします。</p> <p>今後の通学路の安全対策について説明します。(資料に沿って説明)</p> <p>今後の長岡市の通学路の安全対策の課題と今後想定される事業の方針をご説明いただきました。これについて、妥当性、客観性、合理性に加えまして、委員のご専門の分野から今後の社会資本整備の方策のアイデア等を含めご意見をいただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今お話しいただいたことはもちろんのこと、皆さんも十分に認識されていると思いますが、通学路の安全対策には終わりが無いだろうと思います。それは、子供たちの状況も変わりますし、住んでいる地域、道路の状況、交通量も変わっていく中で、今後、それぞれの当事者、PTA・学校・警察などそれぞれの立場から通学路の状況に常に関心を持ち見続けていくことが大事になっていくだろうと思っています。ここであげられているようにまだ対策できていない箇所は年々少なくなっていくと思いますが、新たに対策が必要な部分は必ず出てくるわけですので、そこを見逃さないようにしていくことが、大事になると思います。他の委員からお話がありましたが、ハード面でやることとソフト面でやることは役割が違ってくるはずなので、ハードではここまで、ソフトではこういうことをやるということを皆が意識していく必要があると思いました。</p>
<p>土木政策調整課長</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。委員のおっしゃる通りいろいろ状況が変わっていきますので、常にアンテナを張ってバランスよくプログラムの中で取り組んでいきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>歩道整備が今後の安全対策のメインになると思いますが、一般的な歩道は車道から一段上がっていますが、地域によっては段差を解消しているところもあるようです。バリアフリーを合理的にやっていくという考えはありませんか。</p>
<p>土木政策調整課長</p>	<p>バリアフリー法が制定されてから、長岡市は都心地区についてそういう歩道整備をやってきました。さらに、人が多く集まるようなところ、例えば古正寺地区、千秋ヶ原地区でバリアフリーの考えに基づいた整備を行っていこうと考えています。しかし、全部の歩道を改築するのは</p>

	<p>大変ですので、公共施設や商業施設に繋がる路線、そういうところを調査しながらバリアフリー化に取り組んでいきたいと考えています。ただ、郊外に行きますとそこまで手が回っていないのが現状ですが、今は昔みたいに段差が 20~30 cmもあるような歩道ではありません。今後歩道を改築する際は、基本的にはバリアフリーの考え方で進めていきます。</p>
委員	<p>P72 のグラフの表題が今後の進捗と見通しとなっていますが、30 年度以降の見通しがこれではよくわからないと思います。表題を変えればいいのか、それとも、何か書き加えればいいのかお聞きします。</p>
土木政策調整課長	<p>今後の見通しということで中途半端な線が入っていますが、ちゃんと見通しを立てて考えていかないといけないと思います。表題はこのままで、見通しを立て予測線を入れたいと思います。</p>
委員	<p>基本的には先ほどの感想と一緒に、指標 2 については達成してよかったというだけなんじゃないかということです。いくらでも 1 になったり 2 になったりする不確実性が強い、そういう意識で課題に積み残っているのか。今回は交通事故という具体的な数字は表れなかったけど、危険箇所というのは残っていて、今回で国の交付金事業が終わるけれども、やらなければいけないことは残っているという意識をもって、この表が整理されていればいいと思います。</p> <p>達成というとゴールテープを切ったような感じ、もうやらないという感じがするので、そういう意味では三角という判断もあるのかもしれない。まだまだやらないといけないことがたくさんあるという意味で、その三角をとらえて、評価をするというのもあると思います。</p> <p>数字のとらえ方は、委員長と事務局にお任せします。ハードとソフトの一体的という話もありますが、ハードをやったところはソフトを重点的にやっていただくことで、リスクをかなり減らすことができると思います。ソフトだけ頑張ってもダメな部分はダメなところがあって、ハードの持っている影響力は大きいので、そこにソフトを加えてリスクを最小化していくという意味でも、ハードを入れたところは是非ソフトについて相当頑張ってくださいねというバトンの渡し方は必要ではないかと思います。</p>
委員長	<p>他にありますか。よろしいですか。</p> <p>だいぶ委員にまとめてもらいましたので、今後の安全対策についてはこれでいいのかなと思いますが、この提案自体は継続し内容を更に進化してもらいたいと思います。あえて言いますと表の中にキーワード的に入っていないソフト対策のことをもう少し簡単にでも書き込んで</p>



<p>土木政策調整課長</p>	<p>もらうと委員のご意見を反映したものになると思います。そのあたりについては、少しご検討いただきたいと思います。</p> <p>あと、一つだけ質問ですが、P73は補助対象事業の一覧とありますが、今後も事業を継続されるのでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>今回の計画はH29年度までですが、この表にある箇所は新たな計画の中で継続していく補助事業になります。</p>
<p>委員長</p>	<p>わかりました。ぜひ進めていっていただきたいと思います。</p> <p>それでは最後の議題の今後のスケジュールについて説明をお願いします。</p>
<p>土木政策調整課長</p>	<p>今後のスケジュールについて説明します。本日ご審議いただいた内容を踏まえ、資料を修正し8月ごろ警察からの資料等によりフォローアップを実施したのちに委員長にご報告させていただきます。そのうえで市のホームページに掲載し、その後、時期は未定ですが国に報告いたします。また、修正した資料については、委員の皆様にもお送りしたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>次に来年度以降の事後評価の予定ですが、来年度は道路局が2計画、H32年度以降も公園、住宅関連の評価があります。委員の皆様からは今後ご審議のほうよろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>これで審議はすべて終了しましたが、私が失念しておりまして、委員が言われた指標の2は三角でもいいのではという件ですが、現時点では達成していますので、あえて三角にはしないで、もし、件数が増えてしまったら考えるということではよかったですでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。</p>
<p>委員長</p>	<p>確認がとれましたので、これについては事務局の提案通りということで了解したいと思います。</p> <p>では、以上ですべての議事を終了しました。</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>